

全員参加の教会を目指して(2)

たかまつしきょうく じょさい にしかわやすひろ
カトリック高松司教区 助祭 西川康廣

FABC信託局では、キリスト教小共同体を育てていくリーダーを育成するため、ASIPA という方法論を開発したことを第1回でお伝えしました。元々はアフリカにおける宣教活動を目指し、南アフリカのLUMCOで生まれたものであるが、それを元にアジアに適應させるためFABC信徒局と人間開発局が中心となり、創意工夫してできたものである。1990年代における『教会の新しいあり方』と題した、ASIPAによって作成されたテキストに基づき研修・実習したことを分かち合います。

I. 教会の成長段階(Stage of church growth)

ステージ1教会:すべてが準備された教会(Provided Church)

司祭中心の教会;司祭は神と神の民との仲介的存在

・信徒の責任逃避;教会とは一体何かが問われる

ステージ2教会:教会評議会(Pastoral Council Church)

司祭と評議員による教会;全員参加の教会とはいえない

教会評議会と一般社会の評議会との違いは何か

・教会評議会は、キリストは何を望んでおられるかが視点

・一般社会の評議会は、人々は何を望んでいるかが視点

ステージ3教会:気づきの教会(Awakening Church)

教会の主な指導者(司祭・助祭・修道者・カテキスタ)による啓発

・教会とその役割は何かが問われる

ステージ4教会:奉仕職を担う教会(Task Group Church)

カリスマを活かした活動グループが生まれる

・派閥(セクト)グループの教会の姿が現れる

ステージ5教会:聖体を中心に一致した教会共同体(Communion of Communities)

あらゆる使徒職は、『聖書(み言葉)と典礼(秘跡)』から力を得て新たにされる。固有のカリスマが忠実に実行

され、しかも異なる奉仕職を互いに受け入れ、多様性の一致をもってキリストの神秘体を構成し、『言葉としての

(生活)』によるキリストの証人となる。また司祭・信徒の関係は、キリスト中心、協力体制、共同参画、意思の疎通、

共同責任、キリストの見える姿を具現化し癒しとなる。教会本来の在るべき姿である福音宣教へと繋がる。

＜共同責任と共同参画への訓練＞

1) 信者は何に参加すべきなのか

神からのそれぞれ賜物を活かす合い、協力者や共同責任者として働くようになる。

2) 小グループ教会共同体育成へ向けて

家族的交わりの小グループ教会共同体を形成し、神との親密な交わりと全人類一致のしるしであり

道具となる。

3) み言葉(キリスト)中心の教会共同体づくりへ向けて

聖書の分かち合い(七ステップによる方法)

聖書の分かち合いは、一人ひとりに何がもっとも大切であるかを気付かせ、み言葉から宝物を掘り当てる

ことである。七ステップによる聖書の分かち合いの実践は、自分たち自身をキリストとともに分かち合うように

導いてくれます。

ひとり しかいしゃ た か き なな ほうほう したが ひ ふくいん しょう わ あ
一人の司会者を立て、下記七ステップ方法に従いながら、その日の福音を小グループで分かち合ってみま
せんか。気を付けたいことは、司会者とはナビゲーターの役割であり、決して教え方もリーダーでもない
ことを弁えること。みんなが慣れないうちは、ステップ 1~4 まででよいでしょう。グループが慣れてきたら
ステップ 7 まで取り組んでみてください。

【七ステップによる、み言葉の分かち合いの在り方】

1. 主を招きましょう

ひとり ふたり こ まね いの
一人か二人、イエスが来られるように招き、祈ってください。

2. テキストを読みましょう

しよ だい しょう ひら ぜんいん せいしょかしよ ひら お しず ま
〇〇書の第・章を開きましょう。(全員が聖書箇所を開き終わるまで静かに待つ)

だれ だれ どうぞ なにせつ なにせつ よ ちんもく のち
誰かどうぞ…何節～何節までを読んでくださいますか。(しばらく沈黙した後)

だれ おな かしよ ちんもく いちどよ こと やく せいしょ もち
誰か同じ箇所をもう一度読んでくださいますか。(できれば異なる訳の聖書を用いて)

3. テキストから言葉を選び、それについて黙想しましょう。

ことば また みじか く えら かいこえ だ いの こと かく かい かい
言葉、又は短い句を選び、それを 3 回声に出して祈るようにゆっくり読み、そしてその繰り返しの間では

ちんもく まも ひとお ぜんいん お ぜんたい さいどよ
沈黙を守ります。(一通り全員が終わると、テキスト全体を再度読みましょう)

4. 静かにして神様に語り掛けて頂きましょう(司会者は 3 分間ほど時間を厳守)

ふんかん ちんもく まも かみさま はな か
…分間かの沈黙を守り、神様がわたしたちに話し掛けられるようにします。

5. わたしたちの心に響いたことを分かち合いましょ

ことば じぶん こころ かんどう あた
どの言葉が自分の心に感動を与えましたか？

また、**「霊的体験」**があったら、例えば、誰か**「いのちの言葉」**をどのようにして生きて来たとか、

どのようなものでも分かち合ってよいでしょう。

(たとえ誰かが分かち合わずに、テキストに関して**「批判をした」**としても、それについて**「議論」**はしません)

6. わたしたちのグループに課せられた仕事については、どんなものでも話し合います

まえ しごと ほうこく
a) 前にした仕事の報告

あたら しごと だれ なに いつ
b) 新しい仕事のうち、どれをしたらよいか？ 誰が、何を、何時したらよいか？

7. とともに自由に祈りましょう

ぜんいん じゆう いの さそ
— 全員を、自由に祈るように誘います。

みな し いの また せい か お
— 皆が知っている祈り、又は聖歌で終わりにします。